

モーガンレンズ眼洗浄システム 取扱説明書

モーガンレンズ眼洗浄システムは、アルカリ熱傷／酸熱傷／洗剤・シャンプー／石油・ガソリンなどの化学物質で、眼に熱傷を負った人の緊急治療に使用します。

角膜および結膜の化学熱傷は、速やかに大量の洗浄液で連続的に洗浄することが重要です。

モーガンレンズによる眼洗浄は、薬物や熱傷により眼に障害を負った人の苦痛を和らげ鎮静効果をもたらします。一定の流量で連続的に灌流する洗浄液は、速やかに角膜と結膜囊全体に行き渡り、効果的に化学物質を洗い流して眼外へ排出されます。レンズは洗浄液により角膜から浮いた状態で留まり、受傷者は瞼を閉じたまま治療を受けることができます。

モーガンレンズ眼洗浄システム

届出番号：13B3X00138000084

基本セット ・モーガンレンズ本体【滅菌済】2個 ・デリバリーセット【滅菌済】1個 ・メディダクト【未滅菌】2個



モーガンレンズ

届出番号：13B3X00138000082



デリバリーセット

届出番号：13B3X00138000083



メディダクト

瞼を閉じたまま、受傷した角膜や結膜を連続的に洗浄することができます。【サイズ：23mm×18mm】

輸液バッグに接続してモーガンレンズに洗浄液を送ります。モーガンレンズを2個接続して、両眼を同時に洗浄することができます。

眼から流れ出た洗浄液を回収します。超吸収素材が洗浄液を効果的にダクト内に取り込み、ダクト先端より排出します。

使用方法 【レンズを眼にセットする】



モーガンレンズ（以下「レンズ」という）を瞼の下に挿入する前に、必要に応じて表面麻酔薬を点眼します。



レンズをデリバリーセットに接続します。デリバリーセットには、レンズを2個同時に取り付けることができます。



デリバリーセットを輸液バッグに接続して、洗浄液を少量流します。レンズより洗浄液が流れ出していることを確認してください。これにより、レンズと角膜と強膜とが直接接触することなく「浮く」状態になります。

【レンズを取り外す】



レンズを眼にセットする際に、レンズが患者の角膜に触れないように注意してください。上瞼を上げ、患者に下を向いてもらいます。この状態でレンズの上側を上瞼の下に挿入します。次に、下瞼を下げ、患者に上を向いてもらいます。この状態でレンズの下側を下瞼の下にセットします。レンズが両瞼の下に固定されていることを確認してください。

洗浄液を適切な量に調節して洗浄を開始します。洗浄中に洗浄液が途切れないよう十分に注意してください。



メディダクト（受水袋）を患者の目尻の下に取り付けます。眼から流れ出た洗浄液はメディダクトが取り込み、ダクト先端より排出します。レンズとメディダクトが誤って外れないように、絆創膏で固定してください。

流れ出る洗浄液のpHを測定します。pHは10分毎に測定してください。



レンズは洗浄液を流し続けた状態で取り外してください。下瞼を下げ、患者に上を向いてもらいます。この状態でレンズを下方にスライドさせて取り外します。レンズは単回使用品です。使用後は適切に破棄してください。

モーガンレンズ適応症例	洗浄液	使用器具	流量調節	回数・頻度
酸による火傷、または溶剤、ガソリン 洗剤などによるアルカリ熱傷	乳酸リングル液* pHにより推奨： 乳酸リングル 6.0~7.5 生理食塩水 4.5~7.0	モーガンレンズ 眼洗浄システム	500mlの急速/フリーフロー 再チェックし、低速で続ける	1回 必要に応じて繰り返す。 眼から流れ出たpHが正常に戻るまで継続する
アルカリ熱傷		モーガンレンズ 眼洗浄システム	2000mlの急速/フリーフロー 再チェックし、50ml/時間または15滴/分	通常（約7.0~7.3）必要に応じて繰り返す
眼球に埋没していない微粒子状の異物 眼の穿孔や角膜深部の損傷、眼球に埋没した異物がある場合には使用不可		モーガンレンズ 眼洗浄システム	500mlの急速/フリーフロー 再チェックし、低速で続ける	1回。必要に応じて繰り返す
異物感はあるが実際には異物がない場合	20ccの滅菌洗浄液	モーガンレンズ + 20ccシリソジ + メディダクト	力を入れずに ゆっくりと	1回。必要に応じてもう1回
術前のルーチン	10ccの眼科用消毒液	モーガンレンズ + 10ccシリソジ + メディダクト	力を入れずに ゆっくりと	1回
眼瞼手術（眼瞼手術中の角膜保護 眼瞼手術中の角膜保護）	乳酸リングル液*	モーガンレンズ 眼洗浄システム	4滴/分	全処置中
重度の感染症	乳酸リングル液* 適切な抗生物質と ステロイド**	モーガンレンズ 眼洗浄システム	50ml/時 または15滴/分	70時間連続。 その後顕著に改善するまで 10時間間隔

* 専門家は、pHが正常値（7.0~7.3）に戻るまで継続的に灌漑を行うことを推奨しています。10分後にpHを再チェックし、必要に応じてこのプロセスを繰り返します。

MorTan社は、洗浄液に乳酸リングル液を使用することを推奨しています。その理由は、乳酸リングル液のpHは（6.0~7.5）で、生理食塩水の（4.5~7.0）よりも涙（約7.1）に近いためです。

さらに、乳酸イオンは緩衝能力を持ち、酸性または塩基性のpHを迅速に中性に戻します。

** 抗生物質やステロイドは、適応がある場合にのみ使用してください。

- ・本製品は眼洗浄の訓練を受けた専門家のみが使用すること。
- ・本製品の再使用や再滅菌はしないこと。
- ・パッケージが開封または破損している場合は使用しないこと。
- ・使用後は、感染性廃棄物として廃棄すること。

【禁忌】 眼の穿孔や角膜深部の損傷、眼球に埋没した異物がある場合などには使用しないこと。

製造発売元
 **ACCORD**
INTERNATIONAL INC.
アコードインターナショナル株式会社

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-14-5 3F
TEL 03-5810-1735 FAX 03-5810-1736
www.accord-intl.com

製造販売業許可番号:13B3X00138

 **MorTan** Inc.

製造元
MorTan Inc. 米国：モータン社

製品の仕様及び価格は予告なく変更することがあります。

202410-1